vol.56
2020.11
H-SATT

農林水産省 近畿農政局（兵庫県拠点）

農政局だより@ひょうご

〒650-0024
神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎
TEL:078-331-5924　email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp

～ 子どもたちが食料自給率について考えました ～

〈 芦屋市立朝日ケ丘小学校 〉

近畿農政局兵庫県拠点は10月30日、芦屋市立朝日ケ丘小学校を訪問し、5年生のみなさんと食料生産の問題について一緒に考えました。

5年生2クラス（43名）の児童は、12のグループになり、事前に調べた資料を示しながら、「農業をする人が減ってきている」「輸入が増えている」ことから、「このまま自給率が下がりつづけしまうと、国産のものが食べられなくなる」などを問題提起としました。それに対し「形の悪い野菜も消費して消費量を増やす」「野菜を工場生産して増産する」など、さまざまな視点から食料自給率を上げるための提案が発表されました。

発表のあと、提案のなかにあった「輸出もしてもうかる農業で、農業をする人を増やす」ことや、「会社化や大規模化し生産を増やす」ことは、農林水産省としても進めていて、みなさんと同じ気持ちであることを紹介しました。

児童のみなさんからは、「日本は輸入にどのくらいのお金を使っているの？」という熱心な質問や、「自分もごはんを残さずたくさんたべるなどして自給率アップにつなげたい」など、頼もしい感想が寄せられました。

福良漁業協同組合（南あわじ市）が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に見事選定されました

内閣官房及び農林水産省は「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例として28地区及び4名を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第7回選定)に、選定しました。兵庫県から**福良漁業協同組合（南あわじ市）**が**ビジネス部門**で見事選定されました。

また、近畿農政局管内は、応募のあった事例の中には、これら以外にも優れた取組があることから、近畿独自の特徴ある優れた取組について、近畿「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として7地区と1名を選定しました。

兵庫県からは、**丹波市**の**株式会社ゆめの樹野上野**が**団体部門**で選定されました。

（詳しくは、こちら）
https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/201105.html

キラリ☆現場にて

人気の野菜を瑞々しいままで届けます！

〈チャンタラ農園
鷺野 チャンタラ 沙織さん〉

神戸市西区のハウス20ａで、サラダ野菜を栽培する、チャンタラ農園の鷺野チャンタラ沙織さんにお話しを伺いました。

－農業を始めたきっかけは？－　20代の頃、国内外で仕事をしているうちに、自分で何かを始めたい！と思ったのが農業でした。帰国後に楽農生活センターで1年研修を受け、故郷の神戸市西区で、親方農家さんの下で半年修行したのちに独立し、現在3年目です。親方農家さんから引き継いだハウスで、サラダホウレンソウのほか、季節に応じ、スープセロリやスイスチャードなどサラダ系の野菜数種類を水耕栽培しています。明石市場やJAの直売所などに出荷するほか、バイヤーさんにも販売、レストランなどでも多く使っていただいています。

－農作業の労働力はどうされているのですか？－

昨年に出産を経験したばかりで繁忙ですが、10人のパートさんのほか、翻訳の仕事をしている夫が今は農業に注力してくれて、順調に営農を継続しています。水耕栽培時に根を張らせるロックウールをそのままつけて流通させていて、鮮度が長持ちするので、収穫作業の時間を選ばないことや、市場や直売所の出荷受入時間が午後でもよいことも、子育てをしながら無理なくできて助かっている点です。

－販売で工夫している点は？－

包装のロゴや検索から「チャンタラ農園」を知り、アジア系の香味野菜が手に入るかも、と問い合わせてくださるバイヤーさんも多く、新たな販路がどんどん増えました。注文が入ったら必ず応えたいので、常に出荷できる状態のものを欠かさないよう、作期や出荷を調整し工夫しています。

スープセロリは
お鍋にもおすすめ

スイスチャードは
色鮮やかなのが人気です

－将来の展望は？－　バイヤーさんから、大阪の都心のレストランへの出荷が決まったことなどを聞くと嬉しくなります。将来的にはハウスの増設も考えていますが、まずはハウスの回転率を上げるなどして増産を目指し、これからもたくさんの人に新鮮な野菜を届けたいと思っています。

「～棚田ばあ～棚田で輝くお婆ちゃんの作文・フォトコンテスト」入選作品を決定

農林水産省は、棚田地域を盛り上げるための取組の一環である「～棚田ばあ～棚田で輝くお婆ちゃんの作文・フォトコンテスト」を開催し、9月8日～9月22日の間作品の募集を行いました。このたび、入選作品を13件決定しました。

兵庫県からは、**市川町上牛尾寺家 寺家の棚田「市川・愛の棚田ばあ」**が入選しました。どの作品からも、棚田で活躍するおばあちゃんの魅力が伝わってきます。

是非、サイトをチェックしてみてください。

（農林水産省ポータルサイト「棚田に恋」）
https://www.nou-navi.maff.go.jp/tanadanikoi/news/

キラリ☆現場にて

地域の農地を守っていきたい！

〈株式会社フジ工房 新千農園 藤本俊祥さん〉

たつの市新宮町で、水稲、馬鈴薯、九条ネギなどを栽培されている、藤本俊祥さんにお話しを伺いました。

－農業を始めたきっかけは？－

元々は兼業農家ですが、幼いときから農作業の手伝いをしていたので、いずれ農業をするのかなと考えていました。

食品企業に就職しながら認定農業者になりましたが、農地を任される機会が増えたため、平成26年に離職し専業農家となりました。

大事な農地を預かって欲しいと言われると、断れないですからね。「自分が地域の農地を守っていかないと！」と思っています。

－どんな農業を目指していますか？－

約30ｈａの農地を耕作していますが、水稲では「高くても買って良かった」と、お客様に喜ばれるお米の生産を目指し、特別栽培米など特徴的な商品を自社ブランド「夢はりま」として販売しています。自分で京阪神などへ配達した際に、直接お客様の声として好評をいただいているので、どんどん挑戦していきたいです。

サツマイモの収穫体験では地域の皆さんにも参加してもらっています。大きなサイズを掘って喜んでいただこうと、いろいろ肥料等工夫しています。

また、九条ネギは、たつの赤とんぼクラブさんからご紹介をいただき、地元の醤油会社のうどんスープの原材料として使っていただいています。みなさん、是非、ご賞味ください。

－うれしかった事や将来の展望は？－

多くの仲間に恵まれたことが一番の財産ですが、最近で一番嬉しかったのは、一緒にやってきた仲間が独立して専業農家になってくれたことです。いつも農業のことで頭が一杯なんですが、お客様や市場が何を求めているか、何が必要とされているかを考え、これからも色々なことに挑戦していきたいと思っています。

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）防除対策マニュアル及びリーフレットの公表について

農林水産省は、水稲の生産に被害を及ぼすジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除の徹底を図るため、指導者向け防除対策マニュアル及び生産者向け防除対策リーフレットをとりまとめましたので、公表します。近年、温暖化等の影響による病害虫の発生時期の早期化、発生量の増加、発生地域の拡大がみられ、従来の防除体系で被害の防止が図れていた農作物にも被害が生じることがあります。

都道府県等と協力し、次期作以降の被害撲滅に向け、本マニュアルやリーフレットを普及するとともに、新たに甚大な被害が認められた地域における防除体系の確立を推進します。

（詳しくは、こちら）https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/index.html

～地域の話題～
農産物直売所を訪ねて

⑩道の駅あまるべ ～余部橋梁の麓から～

地域のインフラとして欠かせない余部橋梁の麓に平成24年「道の駅あまるべ」が開業しました。翌25年には旧余部鉄橋を活用した展望施設「空の駅」、29年には道の駅（地上）と空の駅（鉄橋）を結ぶエレベーター「余部クリスタルタワー」が設置されました。

これらの施設には、新緑や紅葉のシーズンをはじめ四季を通じて遠くからも観光客が写真撮影や食事に訪れ、但馬の人気スポットになっています。道の駅の販売コーナーでは余部鉄橋に縁のある鉄橋の鋼材グッズなどが人気です。また地元産の農産物や海産物、生活必需品の雑貨なども販売されており、生産者をはじめとした地域の方々の交流拠点にもなっています。

道の駅の川本博文駅長は「観光客の皆さんに楽しんでいただきたい施設であるとともに、地域の方が日用品の買い物に利用されたり、施設内の草とりや掃除などを担ってくださる、地域に密着した道の駅ですので、その役割は続けていきたいと考えています。一昨年、空の駅の駅長に迎えたケヅメリクガメの「かめだ そら」も、観光客を楽しませてくれています。今後は観光客と地域住民が交流できるような場にもしたいと考えています。」と語られました。

これから山陰はカニのシーズンを向かえます。世界ジオパーク認定「山陰海岸ジオパーク」の中心地でもある「道の駅あまるべ」に是非お越し下さい。

名称	：道の駅　あまるべ
所在地	：兵庫県美方郡香美町香住区余部1723-4
電話番号	：0796-20-3617
営業時間	：9:00～18:00（7月・8月は9:00～19:00、定休日なし）
駐車場	：第１駐車場18台（普通車15台、大型車２台、障がい者用１台） 第２駐車場39台（普通車37台、大型車２台）
HP	：http://michinoeki-amarube.com/

但馬の冬の風物詩
（柴山港での松葉ガニ選別風景）

香美町の香住漁港・柴山港では、毎年11月6日が、松葉ガニ漁の解禁日となっており、船から水揚げされた松葉ガニ（ズワイガニ）を重さや色・形等により夜中に選別し、早朝のセリに備えています。

編集後記

「志（ここざし）はビッグでもビジネスはスモールから」耳に残るフレーズはパソコンメーカーのテレビコマーシャル。農家の方との意見交換を行う仕事でも頭の片隅に置いているフレーズである。農家の日々の努力、課題を聞き取り、志を汲み何か支援できないかと考える思いは職員、同僚の共通である。コロナと向き合いしのぐためのスモールな工夫を積み重ねて農業の着実な発展を関係者との連携により達成したい。（キリン）

地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見･ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL：078-331-5924　FAX：078-331-5177